



# 開田小学校だより

令和7年10月31日（金）文責：草間隆志



学校 HP も  
のぞいてください

『目標高く、自分のために全力・あきらめない・けんこう』をスローガンに、マラソン大会に向けた練習が始まりました。休み時間や全校体育の時間に走った分だけ色を塗ることのできるマラソンカードは、多い子で校庭 200 周を超えました。個々の目標に向かって黙々と走る姿から、開田に育つ子どもたちのたくましさを感じました。

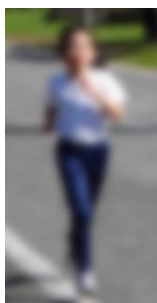
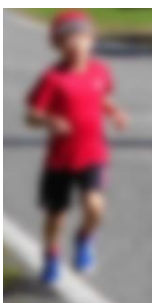
雨天により1週間の延期となった本番は、絶好のマラソン日和となりました。多くの保護者の皆様、地域の方々に声援を送っていただき、子どもたちは紅葉の始まった開田高原を自分に合ったペースで駆け抜けることができました。ありがとうございました。



## 10/23 マラソン大会



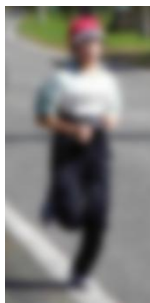
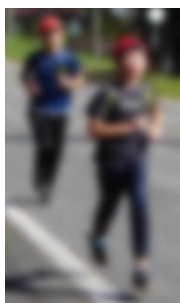
あきらめないで、前を向いて走れました。  
（1年女子）



毎日20周はできなかったけど、10周は走れた。  
（2年男子）

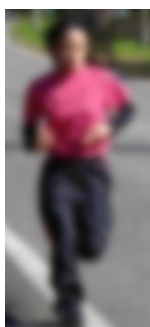
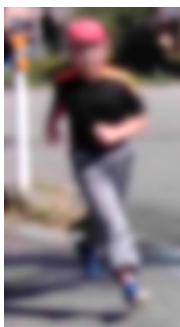
まずは自分のペースで走って、最後に全力を出せば、何も感じなくなって頑張れる。（3年男子）

試走のときよりも、1分19秒はよくなっています、うれしかったです。（4年女子）



元気健康委員会のマラソンカードにたくさん取り組むことができました。（5年女子）

目標通りに歩かず走り続けて、前回の記録を超えることができました。（5年女子）

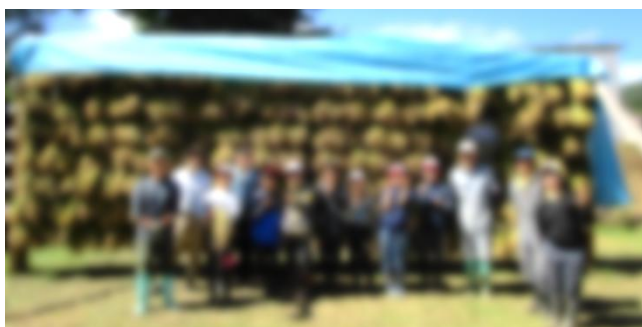


力になったのは、地域の人たちの熱い応援です。心が折れそうなときに「頑張れ」という言葉が聞こえてくると、頑張る気持ちが出たからです。うれしかったのは、タイムです。去年より早くゴールできたことがうれしかったです。頑張れたことは、目の前の人たちを抜くことができたからです。目標の14分はいけなかったけど、楽しく走り切れてよかったです。（6年男子）

今年も、マラソン大会に合わせてCS 運営協議会の皆さんが、コースの草刈りをしてくださいました。ありがとうございました。

## 5年生 稲刈り

9月29日（月）、5年生が稲刈りをしました。開田公民館長、開田教育事務所、開田小応援団の皆様、保護者の皆様、たくさんの方々にお手伝いいただき、約2時間ではざかけまで終えることができました。ありがとうございました。参加した皆さんで心地よい汗をかくことができました。



手刈りだとこんなに大変だとは思わなくて、機械はすごいな、手で刈っている人は本当に大変なんだな、と思いました。上手に刈れてよかったです。縛るのは、ちょっと緩くなったけど、上手にできてよかったです。はざかけは、登らなくてはならず、大変でした。

私たちのことを手伝ってくれたたくさんの人にお礼をしたいと思います。育てたお米やじゃがいもと一緒に食べたいと思いました。

## 5・6年生 レゴ ワークショップ

10月3日（金）木曾町まちづくり創造事業として、5・6年生がレゴワークショップを行いました。

「持続可能な地域社会総合研究所」の藤山浩先生を講師にお迎えし、子どもたちが将来の開田高原の姿をレゴブロックで表現しました。

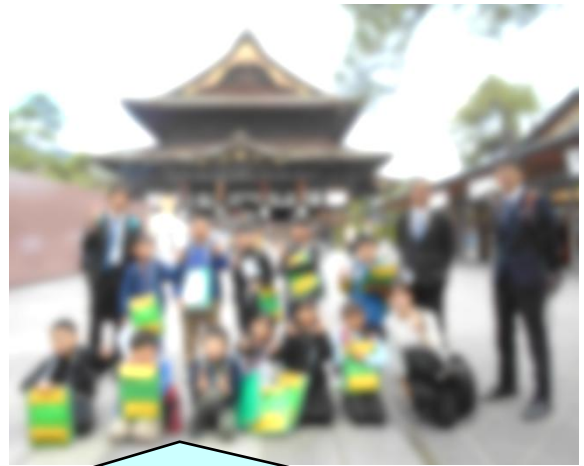
子どもたちは、今ある開田高原のよさを残しつつも、安全・安心・便利で明るい未来を創造していました。このレゴ作品は、児童玄関前に飾ってありますので、11月の参観日にぜひご覧ください。



### 3・4年生 長野市見学

10月9日（木）、3・4年生が長野市見学に行き、善光寺や県庁を見学したり宿坊で昼食をとったりして見聞を広げてきました。善光寺では、参拝やお戒壇巡り、仲見世で買い物、宿坊で食事をしました。真っ暗のお戒壇巡りは、とても怖かったようです。

長野県庁では、知事室や災害対策本部を見学し、県民の豊かな暮らし、安全な暮らしのために仕事をしている県庁の方々の様子を肌で感じてきました。係活動（班長、学習係、保健・食事係）も充実しており、子どもたちはそれぞれの仕事に自覚と責任をもち、てきぱきと行動していました。



特に楽しかったのは、お戒壇巡りです。なぜかという、不思議なことがあったからです。目を開けているのに真っ暗でびっくりしました。

（お土産代を）2,000円持っていて、僕が選んだお土産が全部で2,010円になってしまいましたが、お店の優しいおばさんが、チョコを10円値引きしてくれました。おつりもなく、ぴったり2,000円で買うことができうれしかったです。

### 木曽郡小中音楽会

10月22日（水）、木曽文化公園大ホールで木曽郡小中音楽会がありました。大きなステージで歌うことのできる喜びを感じながら、二部合唱「ペガサス」「少年時代」を会場中に響かせることができました。他校の発表も大変素晴らしく、お互いを高め合えるよい機会となりました。



練習よりも声が出て、笑顔で歌えてよかった。

いつもより、明るく大きな声で歌えてよかった。みんなでいい発表ができた。

今日は『ぼくが髪を伸ばすわけ』という絵本を紹介します。

このお話に出てくるのは、こうたさんという5年生の男の子です。これからこの絵本の読み聞かせをしますので、『学習問題；こうたさんのいいところはどこでしょう？』ということを考えて聞いていてください。

あとで教えてもらいます。（読み聞かせをしました）



『ぼくが髪を伸ばすわけ』  
文；うしだ なみこ  
絵；やまぐち とおる  
発行；ワイズハート

＜あらすじ＞

5年生のこうたくんは、入院した病院で、1つ年上で6年生のみさきちゃんとお会いします。ある日の夜、2人でわくわくしながら将来の夢を話している時に、みさきちゃんのいつもかぶっているクリーム色のニット帽が脱げて、床に落ちてしまいました。みさきちゃんは、小児がんを治す薬の影響で髪がありません。

そして、みさきちゃんはそのことをとても気にしていました。

そこで、こうたくんはみさきちゃんを笑顔にしたいと、11才の自分に一体何ができるのか一生懸命に考えました。調べたり病院の先生に聞いたりして『みさきちゃんを笑顔にする方法』を探しました。そして、たどり着いた答えは髪を伸ばしてヘアドネーション（髪の毛を寄付）するということでした。

ヘアドネーションするには、30cm以上の長さが必要で、伸ばすには3年ほどかかります。男の子が3年間髪を伸ばし続けることは勇気もいりますし、とても大変なことです。

でも、こうたくんは、わくわくした気持ちで髪を伸ばし続けました。だれかのために一生懸命になにかをする。こうたくんはそこに喜びを感じていくようになります。

こうたさんのいいところは、どういうところだと思いますか？ 自分の考えをプリントに書いてください。（それぞれ自分の考えを書く）

それでは、なかよし班で、発表し合ってください。6年生からお願いします。

＜子どもたちの考え＞

「みさきちゃんにかつらをつくってあげたこうたさんは、やさしいと思った。」

「みさきちゃんのためにになにかしてよろこばせようとしたこと。」

「みさきちゃんのために、大変でもかみの毛をのばし続けたところ。」

「自分のことでなくても、人のことを「助けたい」と思えるところ。」

悲しんでいる人のために、一生けん命かみの毛をのばす⇒行動にうつすところ。」

「みさきさんのかみが無いことを知ったとき、何も言わずに、そういう人たちのためにになにかしようと、すぐに考えているのがいいと思った。」

「“みさきさんが笑顔になってほしい”という気持ち」「みさきさんを笑顔にしようと行動したところ」

もうすぐ11月になります。11月は『なかよし月間』です。なかよし月間は、開田小学校で大切にしている重点目標の中の『共生』『自分も相手も大切に、話し合って分かり合おう』の力を育てる月間です。「自分の考えや思いを伝えて、相手の話もよく聞いて、話し合って、分かり合うこと。できていますか？」今日は、『こうたさんのいいところ』を見つけてもらいましたが、今日から、そして、なかよし月間中、同じクラスの・なかよし班の、そして全校の友だちのいいところをたくさん見つけてほしいと思います。

### 11月は『なかよし月間(人権教育月間)』です!!

「だれかに優しくしてもらおうと、心が温かくなります。そして、今度は自分が誰かに優しくしたくなります。優しさや温かさは次の人へとつながり、またそこで優しさや温かさが芽生えます。人間は、けっして、ひとりでは生きられません。お互いが支え合って生きているのです。自分さえ良ければいい。ほかの人が苦しんでいると悲しんでいると、自分には関係ない。そんなふうには思うのではなく、みんながこうたくんのように、だれかのために、自分はなにをすることができるのだらうと考えてほしい。」『ぼくが髪を伸ばすわけ』は、こんな願いのこもった絵本です。開田小学校では「自分に何ができるか考えること」や「自分も相手も大切に、話し合って分かり合うこと」を大切にしています。なかよし月間でも、そんな心がより育めるようにしていきます。